



ベルクレター

2018
春号

株式会社ベルク 第59期報告書

平成29年3月1日～平成30年2月28日

渋谷店（平成29年11月22日開店）





代表取締役社長 大島 孝之

Better Life with Community

地域社会の人々に
より充実した生活を

ベルクは「Better Life with Community」を
CI コンセプトに、生鮮食品を中心に
地域密着型のストアづくりを
取組んでまいります。



平素は格別のご高配を賜り、誠に有難うございます。

ここに当社第59期（平成30年2月期）の決算報告をお届けし、
事業成長を目指す取り組みの状況とその成果についてご説明させて
いただきます。

■ 経営成績に関する分析

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、
緩やかな回復基調が続くものの、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動影
響等、先行き不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、消費者の節約志向が依然として続く中、業種・業
態を越えた競争の激化及び困難な状況が続く人材確保等、厳しい状況が続いて
おります。

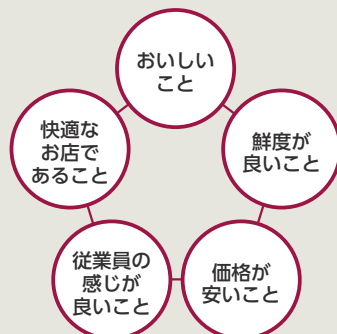
このような状況の中で当社グループは、スーパーマーケットとして地域社会
の人々により充実した生活を提供すべく、「Better Quality & Lower Price」
を掲げ、おいしく鮮度の良い商品の販売、価格訴求及びお客さまに支持され信
頼される店舗づくりを推進いたしました。

その結果、お客さま皆様のおかげで、当連結会計年度の経営成績は、増収増
益を達成することができました。

お客さまに支持されるお店の5つの条件

～Better Quality & Lower Price～

お客さまのライフスタイルや時代のニーズが大きく
変化していますが、スーパー
マーケットに求められる5つ
の価値は変わりません。
この5つの条件を満たしたお
店づくりをベルクは実現い
たします。



■ 販売政策について

販売政策におきましては、ポイントカード販促及びチラシ価格の強化、ネットチラシにより、お客さまの来店動機を高め、生活催事に合わせた売場づくり、品切れの削減及び接客レベルの向上を引き続き行うことにより、固定客化を図る取り組みを実施いたしました。また、移動スーパーの展開により、高齢者等に対する買物支援の取り組みを行いました。

平成29年4月には店舗数が100店舗となり、お客さまからの永年のご愛顧に感謝し、「100店舗達成！謝恩セール」を実施いたしました。

■ 商品政策について

商品政策におきましては、より良い産地からの商品調達を行うことにより、品質の良い商品をお求めやすい価格にてご提供いたしました。

また、品質と安さにさらに磨きをかけるために、ベルクでは近年海外企業と直接商談を行い、直輸入商品を開発しています。流通段階をカットすることにより、より安く仕入れることができるだけでなく、本場の商品をお客さまにお届けすることが可能となっています。



バイヤーは、全国各地の生産者の元へ直接出向き、品質の良い商品を追求める

■ 当社最大の特長

店舗運営におきましては、当社最大の特長である標準化された企業体制を基盤にLSP（作業割当システム）の定着化、適正な人員配置、省力器具の活用による効率的なチェーンオペレーションを推進いたしました。

また、さらなる商品力強化、サービスレベル向上を図るため、各種研修プログラムの充実を行い、従業員教育の強化に取り組みました。

■ 店舗投資について

店舗投資におきましては、平成29年4月千葉県千葉市に「フォルテ蘇我店」、埼玉県八潮市に「八潮鶴ヶ根店」、6月東京都青梅市に「青梅今井店」、7月埼玉県鶴ヶ島市に「鶴ヶ丘店」、9月埼玉県三郷市に「三郷戸ヶ崎店」、10月神奈川県座間市に「座間南栗原店」、11月群馬県渋川市に「渋川店」の7店舗を新規出店し、平成30年2月末現在の店舗数は106店舗となりました。

また、競争力の強化及び標準化の推進のため、既存店9店舗の改装を実施し、惣菜及び簡便商品の拡充、快適なお買物空間を提供するための設備の更新、生産性向上を目的にセミセルフレジ導入等を推進いたしました。



既存店改装の積み重ねがベルクの成長を支える

■ 自社物流センターについて

物流体制におきましては、2つの自社物流センターにて、商品を産地やメーカーから大量一括調達することにより配送効率を高め、商品の価格強化、品質の安定化を目指しました。

また、店舗作業に合わせた配送体制の見直しを引き続き行い、店舗運営の効率化に取り組みました。

■ 連結子会社について

連結子会社である「株式会社ホームデリカ」は、自社開発商品の製造を充実させ、店舗作業の軽減等を行いました。

また、「株式会社ジョイテック」は、備品、消耗品及び販売用資材等の供給や清掃業務等、当社グループのサービス業務の強化に取り組みました。



ホームデリカは、おいしい自社開発商品の供給だけでなく、店舗作業の削減にも寄与

■ お客さまにやさしいお店づくり

ベルクの各店舗では、お客さまの健康な食生活をサポートする安全で身体にやさしい良水オアシスというお水の無料サービスをしています。

また、お買い上げいただいた商品をご自宅まで配送する、お買物宅配サービス「ベルクイック」を全店で展開。

一部店舗においては、店頭に「宅配ロッカー」を設置し、便利で快適なお店づくりを行っています。

■ 社会貢献活動

普段のお買物に不自由されているお客さまの課題を解決することも、私たちの社会的責任のひとつ。ベルクでは、高齢者等に対する買物支援、見守り支援を行うことを目的とした「移動スーパー」を平成29年2月より開始いたしました。毎週2回、お客さまのご自宅一軒一軒を回り、ベルクの安心・安全な商品をお届けしております。

また、平成29年7月に「九州豪雨災害」により被災された方々への救援のための募金活動を全店で実施いたしました。お客さまからお預かりした救援金は、日本赤十字社を通じ、被災地の復興・被災された方々への救援に用いられました。



お客さまよりご好評をいただいているお買物宅配サービス「ベルクイック」

■ 増収増益を達成

これらの結果、当連結会計年度における経営成績は、営業収益（売上高及び営業収入）が211,395百万円（前年比109.2%）、営業利益が9,521百万円（前年比103.9%）、経常利益が9,963百万円（前年比104.2%）、親会社株主に帰属する当期純利益が6,862百万円（前年比110.5%）となりました。

■ 次期の見通し

第60期（平成31年2月期）通期における当社グループの業績見通しは、営業収益（売上高及び営業収入）220,525百万円（前年比104.3%）、営業利益9,811百万円（前年比103.0%）、経常利益10,250百万円（前年比102.9%）、親会社株主に帰属する当期純利益6,896百万円（前年比100.5%）と想定しております。



平成30年4月に「売上2,000億円達成記念セール」を開催

■ 中長期的な会社の経営戦略

当社グループは中長期の経営戦略として、標準化した店舗フォーマットでの計画的出店を行い、新たな商圈開発に取り組むとともに、あわせて、既存店の改装等による店舗活性化や店舗状況に合わせた諸施策を実施し、一層のドミナント化とお客さまに支持される店舗展開を行います。

また、高収益の企業体質を維持、継続していくために、効率経営によりさらなるローコストオペレーションに取り組んでまいります。

中期経営計画の目標値

			第64期 (平成35年2月期)
売	上	高	2,570億円
店	舗	数	140店舗
経	常	利	益
高			116億円
連結経常利益率			4.5%
R	O	A	8.5%



お客さまに支持され信頼されるお店作りを進めてまいります。

業績ハイライト／過去10年間の推移

営業収益

1,030億円



2,113億円

平成21年2月期
第50期

平成30年2月期
第59期

総資産

515億円



1,065億円

平成21年2月期
第50期

平成30年2月期
第59期

経常利益

42億円



99億円

平成21年2月期
第50期

平成30年2月期
第59期

配当金（年間）

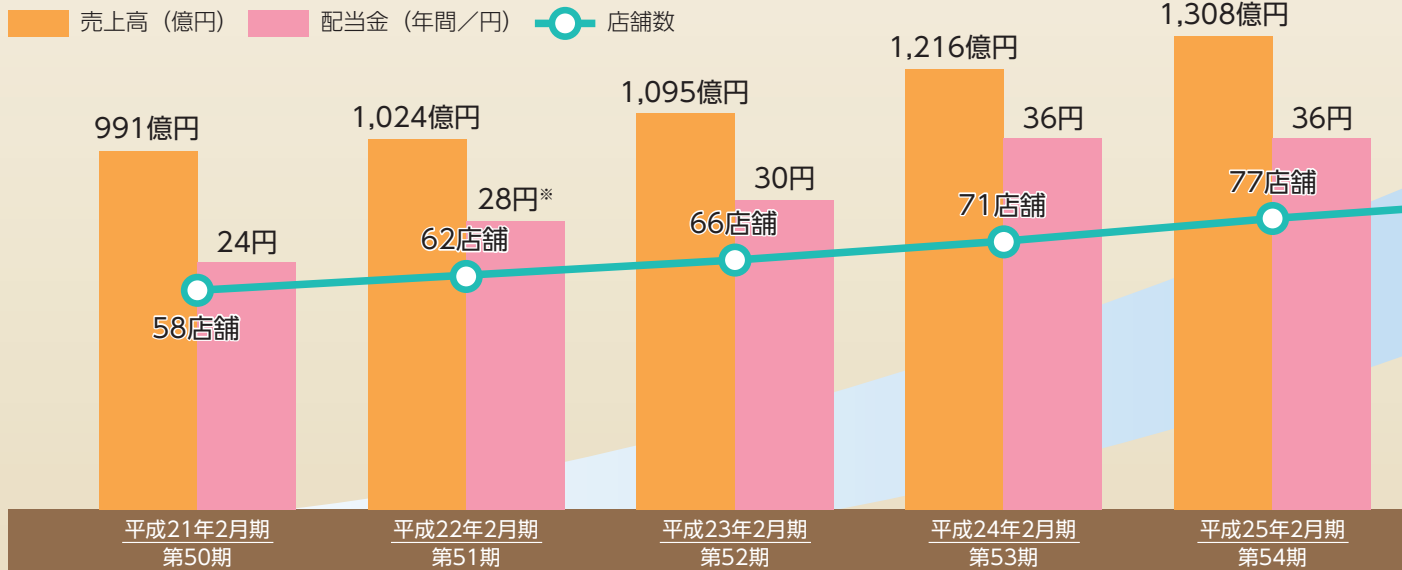
24円



68円

平成21年2月期
第50期

平成30年2月期
第59期



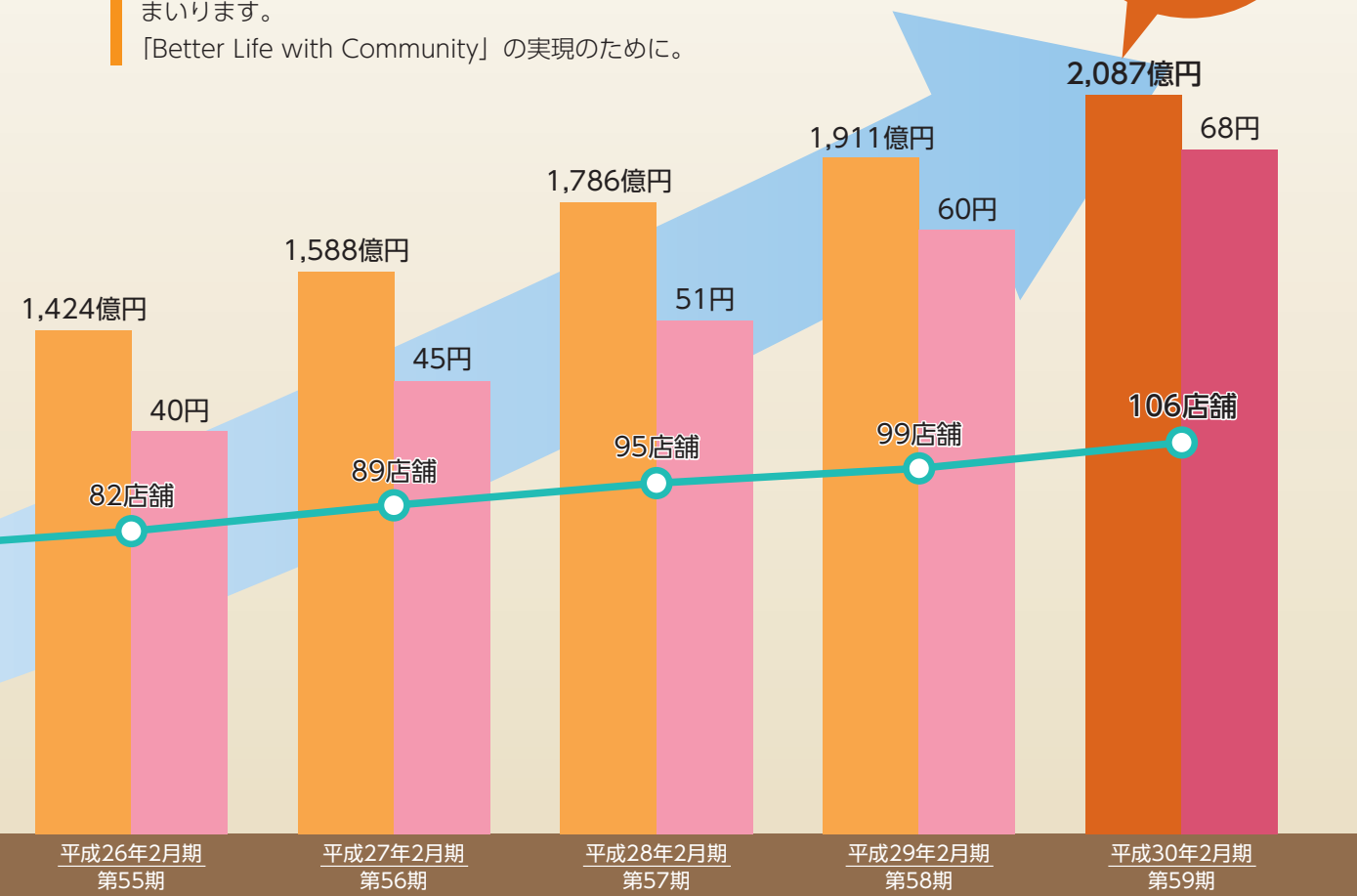
※平成22年2月期第2四半期末は、記念配当4円（創業50周年）を含んでおります。

ベルクは昭和34年の創業以来、食品スーパーマーケットとして、地域の暮らしを豊かにすることを使命としてきました。関東一円に毎年出店を重ね、健康づくりのお手伝いをするため、おいしく鮮度の良い商品の販売、支持され信頼されるお店づくりを行ってまいりました。

売上高2,000億円を達成した今後においても、お客さま一人ひとりに笑顔をもたらし、地域社会の人々に、より充実した生活を提供できるよう努力を続けてまいります。

「Better Life with Community」の実現のために。

売上高
2,000億円
突破



環境・リサイクル

リサイクル活動

環境活動に対する考え方

ベルクは「Better Life with Community（地域社会の人々に、より充実した生活を）」を経営理念に、様々な環境問題にも積極的に取り組み、お客さまにまた地球環境にとっても、快適で便利なやさしい店舗づくりに努めてまいります。

ベルクは全従業員が、身近なことから着実に、そして確実に実践することにより、私たちの活動が地域のお客さま一人ひとりのご理解・ご支援を賜ることで、より大きなやさしい環境づくりに役立ちたいと願っています。



リサイクル活動(店頭回収)

「ご家庭から出される資源を再利用することで、新しい資源とする。」ベルクでは資源の有効活用を通じ、環境保全を推進します。各店舗にリサイクルステーションを設置し、資源の店頭回収を実施し、地域のお客さまにご協力をお願いしています。

回収した各品目はベルクリサイクルセンターを活用したり、食品トレーの一部はトレーメーカーにて原料として再利用する「循環型リサイクル」を行っています。

	牛乳パック 322トン		アルミ缶 853トン
	ペットボトル 2,052トン		スチール缶 454トン
	空きビン 3,760トン		食品トレー 125トン
			乾電池 81トン

回収品目

省エネ活動

ベルクでは、再生可能エネルギーとして有効な太陽光発電パネルの設置を一部店舗屋上にて進め、太陽光発電パネルによって発電された電力を店内で使用しています。

また、引き続き、照明のLED化を推進する等、総エネルギーの削減活動を通じて、環境にやさしい店舗づくりに取り組んでまいります。



リサイクル活動(店舗での回収)

ベルクでは、店舗の営業の中で発生するゴミの分別・リサイクルに取り組んでいます。

店舗にて発生する様々なゴミは、細かく分別することによって、新しい資源として再活用できます。ダンボールは新しいダンボールへ、紙ごみは再生紙などへリサイクルしています。

また、貴重な食料資源を有効に活用するために、「食料資源のリサイクル」にも取り組んでいます。分別した野菜くずや魚腸骨、食用廃油なども、専門業者にて肥料化や飼料化などを行っています。この肥料や飼料が新たな食料資源を生み出しています。また、一部店舗では、専門業者にて生ゴミからバイオガスを生み出す取り組みを行っています。このガスは製鉄所に燃料ガスとして供給され、化石燃料の使用削減に貢献しています。

ベルクは食品を扱う企業として、販売から廃棄にいたるまで、責任を持って取り組んでまいります。

回収品目



ダンボール

15,890トン



発泡
スチロール

339トン



魚腸骨

575トン



食用廃油

202トン



野菜くず

235トン

専門業者にリサイクルを依頼

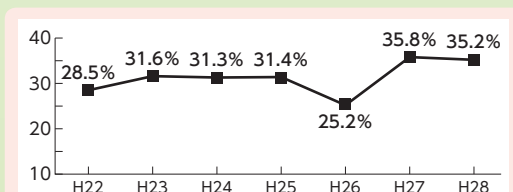


回収した食品廃棄物を発酵・分解



肥料や飼料へと生まれ変わります

食品リサイクル率の推移



食育活動

食育活動に対する考え方

ベルクは「食」を通じて、これからの日本を担う子どもたちに、バランスの良い食事の大切さ、特に野菜や果物を食べる楽しさを理解してもらい、正しい食生活を形成し、「身体」だけでなく「心」の健康づくりを行ってほしいという想いから、食育活動を推進しています。

地域社会の人々に、より充実した生活を提供する手助けとなれるようこれからも取り組んでまいります。



食育授業

ベルクの店舗にて、野菜や果物についての知識や理解を深めてもらうために、食事バランスガイドを使った説明や、売場で実際に買物疑似体験を行ってもらう買物ゲームや調理実習、バックヤードの見学などを行っています。



食育イベント

生産地に行き、農作業を体験したり、生産工場へ行き商品がどのように作られているかを見学したり、実際に自分で作ってみたりといった体験を通して、「食」に関する理解や好奇心を育てています。



女子栄養大学との「産学連携」

ベルクは平成19年7月に食品スーパーマーケットとしては初めて、女子栄養大学と「産学連携」し、食育活動を推進していくことで合意し、覚書の調印を行いました。様々なアドバイスや情報をいただき、お客さまの健全な食生活の一助となる情報の発信、商品の提供を行っています。



新たな自社ブランド誕生

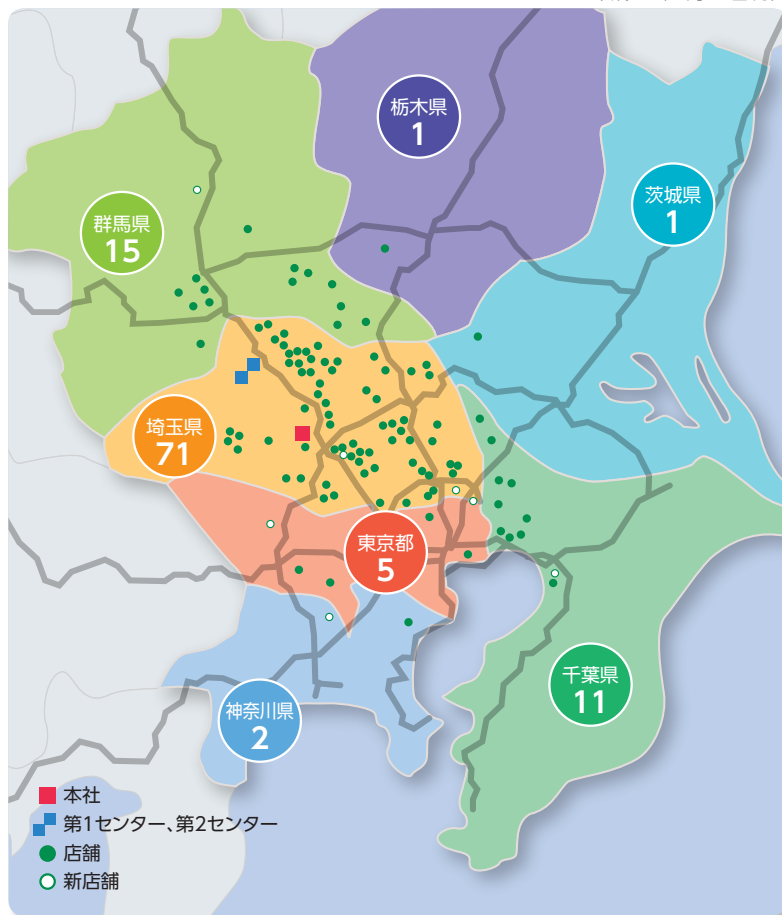


ベルクは、平成30年3月より、これまで取り組んできたベルクブランドを一新し、新ブランド「くらしにベルク kurabelc（クラベルク）」を立ち上げました。商品を通じて、お客さまの傍らで毎日の暮らしを応援したい。そんな想いをこめた新ブランドです。「満足いただける価格」、「安心・安全」、「おいしさ」にこだわった新ブランド商品を展開してまいります。順次商品ラインナップを増やしてまいりますのでぜひご期待ください。

店舗案内



平成30年2月28日現在



県別店舗数

平成30年2月28日現在

埼玉県	71 店舗
群馬県	15 店舗
千葉県	11 店舗
東京都	5 店舗

栃木県	1 店舗
神奈川県	2 店舗
茨城県	1 店舗
合計	106 店舗

■ 新店舗



フォルテ蘇我店



八潮鶴ヶ曽根店



青梅今井店



鶴ヶ丘店



三郷戸ヶ崎店



座間南栗原店



渋川店

沿革

昭和34年（1959）	5月	埼玉県秩父市に株式会社主婦の店秩父店を設立
昭和34年（1959）	6月	埼玉県秩父市に宮側店出店（第1号店）
昭和58年（1983）	3月	営業地域の拡大等に対応し、 商号を株式会社主婦の店ベルクに変更
平成2年（1990）	11月	埼玉県熊谷市に日配センター開設
平成3年（1991）	11月	埼玉県熊谷市に生鮮センター開設
平成4年（1992）	3月	企業イメージの向上のため商号を 株式会社ベルクに変更
平成4年（1992）	6月	埼玉県熊谷市にグロサリーセンター開設
平成6年（1994）	6月	日本証券業協会に株式を店頭登録
平成6年（1994）	7月	埼玉県寄居町に惣菜センター開設
平成8年（1996）	2月	埼玉県寄居町に本部事務所新設、移転
平成10年（1998）	3月	株式会社ホームデリカ （100%出資、現・連結子会社）を設立
平成11年（1999）	1月	埼玉県熊谷市の日配センター、生鮮センター、 グロサリーセンターを統合して、 埼玉県寄居町に物流センター開設
平成15年（2003）	6月	株式会社ジョイテック （100%出資、現・連結子会社）を設立
平成16年（2004）	2月	埼玉県寄居町にリサイクルセンターを開設
平成16年（2004）	12月	株式会社ジャスダック証券取引所に株式を上場
平成18年（2006）	7月	イオン株式会社と業務・資本提携
平成19年（2007）	4月	50店舗達成
平成20年（2008）	2月	東京証券取引所市場第二部に株式上場
平成21年（2009）	2月	東京証券取引所市場第一部銘柄に指定
平成26年（2014）	5月	埼玉県美里町にチルドセンターを開設
平成27年（2015）	2月	埼玉県鶴ヶ島市に本社を新設・移転
平成28年（2016）	1月	埼玉県寄居町にトレーニングセンターを開設
平成29年（2017）	4月	千葉県千葉市にフォルテ蘇我店出店（100店舗目）

会社概要／株式データ



平成30年2月28日現在

平成30年2月28日現在

▶ 会社概要

社 名	株式会社ベルク
代 表 者	代表取締役社長 大島 孝之
本社所在地	埼玉県鶴ヶ島市脚折1646番
資 本 金	3,912,657千円
従 業 員 数	連結／6,303名(正社員1,747名 パートタイマー(8h換算)4,556名) 単体／5,940名(正社員1,706名 パートタイマー(8h換算)4,234名)
事 業 内 容	食品スーパーマーケット・チェーン経営
連結子会社	●株式会社ホームデリカ 本社・第一工場 埼玉県大里郡寄居町大字用土5449番地1 第二工場 埼玉県児玉郡美里町大字猪俣1026番地 ●株式会社ジョイテック 本社 埼玉県鶴ヶ島市脚折1646番

平成30年5月25日現在

▶ 役員

取締役会長 原 島 保	取 締 役 大 杉 佳 弘
代表取締役社長 大 島 孝 之	取 締 役 上 田 寛 治
代表取締役専務 原 島 一 誠	取 締 役 古 川 知 子
常務取締役 上 田 英 雄	取 締 役 村 井 正 平
常務取締役 原 島 陽 一 郎	常 勤 監 査 役 妹 尾 能 久
取 締 役 渡 辺 修 司	監 査 役 前 嶋 修 身
取 締 役 高 野 初 雄	監 査 役 蔭 山 好 信
取 締 役 中 村 光 宏	

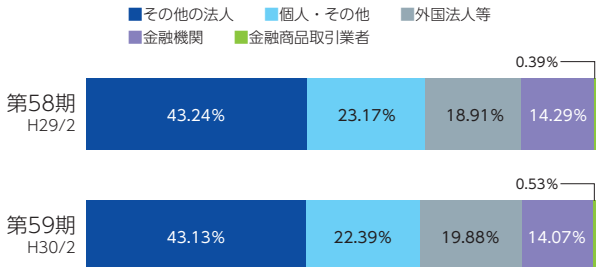
▶ 株式の状況

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式の総数	20,867,800株
株 主 数	4,924名

▶ 大株主

株主名	所有株数(株)	持株比率(%)
イオン株式会社	3,131,000	15.00
株式会社IH	1,864,400	8.93
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO) (常任代理人株式会社三菱東京UFJ銀行)	1,686,400	8.08
株式会社TH	1,401,400	6.72
有限会社ヘイセイカンパニー	1,083,000	5.19
株式会社しまむら	877,900	4.21
ベルク社員持株会	689,107	3.30
株式会社武蔵野銀行	677,200	3.25
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	614,300	2.94
原島保	499,020	2.39

▶ 所有者別株式数比率



株主還元方針



株主還元方針

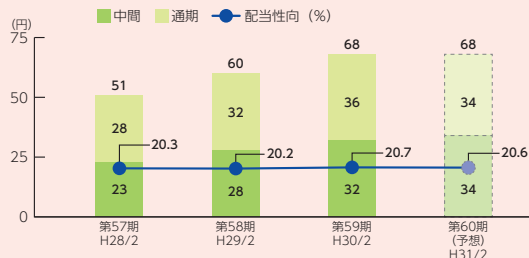
当社は、株主に対する利益還元につきましては、経営の最重要課題のひとつとして位置付けており、安定配当の継続を基本方針としております。あわせて、財務体質の強化と業容の拡大に備え、また店舗の新設及び改装等の設備投資や有利子負債の圧縮等に活用するための内部留保の充実等も勘案して決定する方針であります。

これにより、企業競争力の強化に取り組み、企業価値の増大を通じ、株主の皆様への利益還元の充実を図ってまいります。

当連結会計年度におきましては、中間配当として普通配当1株当たり32円、期末配当として1株当たり36円の配当を実施いたしました。これにより年間配当金は1株当たり68円となり、配当性向は20.7%になります。

また、次期の配当金は、1株当たり中間配当34円、期末配当34円の年間68円を予定しております。

▶ 配当金実施推移



株主優待制度

株主の皆様への日頃のご支援、ご協力への感謝のしるしとして、毎年2月末日現在の株主名簿に記載された株主様に対し、株主優待制度を実施しております。

1. 対象者及び対象基準

株主優待のご案内 (贈呈基準及び内容)				
所有株式数	水溫熟成 魚沼産コシヒカリ	当社商品券	JCB ギフトカード	
100株以上の株主様	2kg	または 1千円 (千円券×1枚)	または 1千円 (千円券×1枚)	
500株以上の株主様	3kg	または 2千円 (千円券×2枚)	または 2千円 (千円券×2枚)	
1,000株以上の株主様	5kg	または 3千円 (千円券×3枚)	または 3千円 (千円券×3枚)	
3,000株以上の株主様	8kg	または 4千円 (千円券×4枚)	または 4千円 (千円券×4枚)	
5,000株以上の株主様	10kg	または 5千円 (千円券×5枚)	または 5千円 (千円券×5枚)	

2. 贈呈の時期及び方法

5月に郵送される株主優待のご案内の中から、左記3品のいずれかをご選択いただき、ご希望のものを年1回6月下旬頃、お送りいたします。

(「株主様ご優待申込書」のご返送がない場合は、「JCBギフトカード」をお送りいたします。)

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	5月中
基準日	
期末配当金	2月末日
中間配当金	8月31日
株主名簿管理人	
特別口座の	三菱UFJ信託銀行株式会社
口座管理機関	

同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1
電話お問合せ	(0120) 232-711 (フリーダイヤル)
郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
1単元の株式数	100株
証券コード番号	9974
公告方法	電子公告 http://www.belc.jp/company/koukoku/

【ご注意】

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内



※写真は旧ホームページ

店舗・チラシ情報やIR情報など、当社最新の情報をご確認いただけます。

企業・IR情報はこちら

ベルク 企業・IR情報

検索

ホームページをリニューアルいたしました。
ぜひご覧ください。



株式会社 ベルク

〒350-2282 埼玉県鶴ヶ島市脚折1646番

TEL. 049-287-0111

お問合せ先：総務部



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。